

**令和3年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会  
大腸がん部会 概要**

- 1 日 時：令和3年12月1日(水) 14:00～15:30  
 2 場 所：オンライン  
 3 出席者：

	氏名	所属
委 員	荒木 寛司	松波総合病院 副院長
	足立 政治	岐北厚生病院 消化器内科部長
	三輪 佳行	岐阜県医師会 常務理事
	窪田 裕子	岐阜市民病院 中央検査部
	西尾 悦子	市町村保健活動推進協議会保健師部会(多治見市)
オブザーバー	伊藤 陽一郎	関保健所 所長
事務局	赤尾 典子	保健医療課長兼健康推進室長
	森 稚加子	主幹兼がん・受動喫煙対策係長
	田口 未夏	技師
	成瀬 萌果	主事

4 内 容：

**報告：1 令和2年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部会議事**

**2 岐阜県のがんの現状等**

- ・大腸がん検診においても令和2年度の速報値は検診受診率・院内がん登録者数ともに減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。県民の受診控え対策と、検診実施側の感染対策をしていく必要がある。また、令和3年度以降には、新型コロナウイルス感染症による発見の遅れなどが懸念されるため、今後も注視していく必要がある。

**(1) 正しいがん検診の実施**

**(2) がん検診マネジメント**

- ・対策型検診において、死亡率減少効果が証明されていない、対象年齢以下への検診は避けるべきである。
- ・精度管理調査のフィードバック等の検診機関への働きかけが功を奏し、検診機関の検診体制は、チェックリストの結果をみると年々改善されてきている。一方で、大腸がん検診の未把握率は依然高い状態が続いているため、検診機関、精密検査医療機関、市町村における精密検査結果回収方法(流れ)の実態と課題を把握し、対策を検討していく。
- ・精密検査で、第一選択である内視鏡検査が行われていない医療機関があること

から、まずは県民に精密検査は内視鏡検査であることを広く周知していく。

- ・精密検査結果の共有について、精密検査結果のフィードバックは検診機関の検査精度向上のために不可欠であるが、フィードバックを求めても市町村によっては個人情報保護を理由に市町村から検診機関への情報提供を断られることもある。情報共有の必要性を市町村に周知していく。

### (3) がん検診の受診率向上対策

- ・コール・リコールの取り組みは受診率向上のために有効であるため、多くの市町村で取り入れられるよう横展開していくと良い。
- ・コロナの影響によりがんの発見や治療の遅れが懸念されることから、がん検診の重要性を、行政、検診機関等とともに周知していくことが必要

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関への通知を行い、フィードバックする。